

令和7年度 第1回岐阜支部評議会概要報告

開 催 日 時	令和7年7月22日(火) 14:00～15:00
開 催 場 所	濃飛ビル会議室
出 席 評 議 員	秋山評議員、井上評議員、梅津評議員、川本評議員、長崎評議員、永田評議員(議長)、村瀬評議員、吉田評議員(五十音順)
議 題	1. 令和6年度決算見込みについて【報告事項】(資料1、参考資料1) 2. 令和6年度事業実施結果について【報告事項】(資料2)
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	評議員9名中8名が出席。 各議題について事務局より資料に基づき説明。主な意見等は以下のとおり。 1. 令和6年度決算見込みについて【報告事項】 【被保険者代表】 準備金残高が6.6か月分相当となっている。不測の事態に備えて準備金を蓄えることは必要だと理解しているが、準備金が積み上がり続けるのもよくない。そろそろ準備金の上限について議論を始めてはどうか。 <事務局> 準備金の上限についてまだ議論されていないが、今後は必要になってくると思われる。協会けんぽとしては、中長期的に先を見通す中で、現状の平均保険料率10%をできるだけ長く維持していきたいという考え方である。準備金の上限についての意見は本部に報告させていただく。 【学識経験者】 平均保険料率10%から簡単に引き下げられないことは理解している。準備金の上限について意見があったが、準備金だけではなく保険料率も含めた両方のバランスを考えた検討をお願いしたい。 <事務局> 10月開催予定の支部評議会では様々なシミュレーションで収支を説明する予定である。ご意見も踏まえた議論を改めて行いたい。 2. 令和6年度事業実施結果について【報告事項】 【学識経験者】 返納金債権の回収率の全国平均が低い理由を教えてください。

<事務局>

小規模支部の回収率は比較的高いが、大規模支部は回収に苦戦しているということが理由として考えられる。

【事業主代表】

損害賠償金債権の回収状況はどうか。

<事務局>

損害賠償金は損保会社と交渉を要するものが多く、入金までに時間がかかるため、回収率も返納金債権と比べて低くなっている。

【事業主代表】

令和6年度の各種事業の達成状況について○×で評価しているが、未達成の事業でも全国平均を超えているものや、前年度と比較して伸びているものは評価してもよいと思う。

【事業主代表】

債権回収等については回収率だけではなく、保険料収入に占める比重を示してもらいたい。

<事務局>

資料1の10ページを確認いただきたい。収入のうち令和6年度岐阜支部の債権回収額は約2億円となっている。

【学識経験者】

生活習慣病予防健診の実施率等はKPI未達成だが、全国平均を上回り、また前年度よりも伸びているので評価してよいと思う。

被扶養者の健診の検査内容についてはがん検診が含まれていないので将来的には同時に受けられるとよい。

<事務局>

被扶養者の健診は令和9年度から特定健診に加えてがん検診等を含めた生活習慣病予防健診並みの内容で健診を受けていただけるよう準備を進めている。

特	記	事	項
---	---	---	---

・傍聴者：報道機関1名

・次回開催は令和7年10月の予定